

2020年3月3日

「RICOH Cloud OCR for 納品書」を提供開始
～AIで帳票処理プロセスを自動化し、中小企業の業務プロセスを革新～

株式会社リコー(社長執行役員:山下良則)は、納品書の業務プロセスをデジタル化し、中小企業の生産性を革新するクラウドソリューションとして「RICOH Cloud OCR for 納品書」を2020年3月9日に発売します。リコーは、OCR結果の確認・修正をBPO(アウトソーシング)で行う「RICOH Cloud OCR for 納品書 +BPO サービス」を2019年12月から提供して来ましたが、より手軽に導入したいお客様向けに修正を学習する新たなAIを搭載した「RICOH Cloud OCR for 納品書」を追加します。

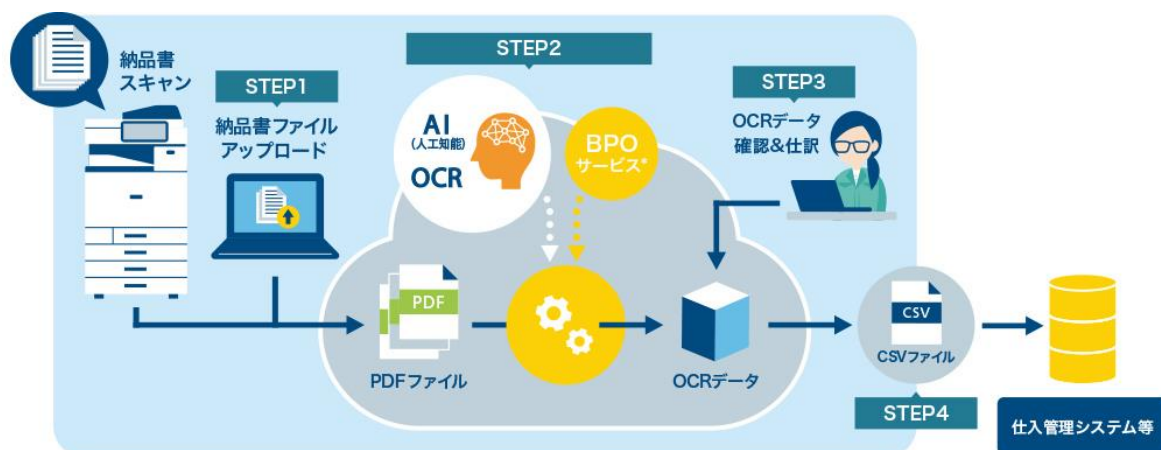
長時間労働の是正や、多様で柔軟な働き方を目指す「働き方改革関連法」が2019年4月に施行され、今年4月からは国内法人の7割を占める中小企業へも順次適用の範囲が拡大されます。しかし、企業間の納品書の受取業務では、中小企業を中心にいまだに紙ドキュメントでのやりとりが多く発生しており、業務プロセス効率化の障壁となっています。新製品は、複合機や電子黒板、カメラなどのエッジデバイスと、さまざまなサービスをクラウド上で連携させ、お客様の生産性革新を実現するリコーの「EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES プラットフォーム」に対応したアプリケーションとして提供します。

「RICOH Cloud OCR for 納品書」は、紙の納品書を文字データ化するクラウド型AI帳票認識OCRソリューションです。紙の納品書をリコーの複合機あるいは他社製のデバイス*1でスキャンする、もしくは納品書のPDFデータをクラウドにアップロードするだけで、リコー独自の帳票解析技術と画像処理技術を搭載したAI(人工知能)が、事前の帳票を定義せず納品書に記載された納品日、仕入元企業名、商品コード、商品名、数量、金額などの情報を自動認識し一括データ化します。データ化した情報はCSVファイル*2に出力することで仕入管理システムや販売管理システムと連携できます。

AIを活用することで、納品書情報をデジタルデータ化するだけでなく、修正データを学習して進歩することが特長です。それにより、人の目による確認・修正を行う、先行のBPOサービスと比べてリーズナブルな料金体系を実現し、在庫管理等のよりリアルタイム性が求められる業務に適しています。こうした特徴により、中小企業における納品書の処理業務を大きく改善し、人手不足の解消やコストの削減に貢献します。

*1 株式会社PFUのイメージスキャナー「FUJITSU Image Scanner fi-7160 RICOH Edition」に対応します。

*2 仕入管理システム/販売管理システムに合わせた形式のCSV出力に対応しているのは、「PCA社製 PCA商管DX」「OBC社製 蔵奉行i10」「OSK社製 SMILE V 販売」です(2020年3月9日発売時点)。



「RICOH Cloud OCR for 納品書」のシステム概念図

株式会社リコー <https://jp.ricoh.com>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 050-3814-2806 (直通) E-mail : koho@ricoh.co.jp

お客様のお問い合わせ先 リコー Cloud OCR サポートセンター E-mail: cloudocr.support@nts.ricoh.co.jp 1

＜「RICOH Cloud OCR for 納品書」の主な特徴＞

1. リコー独自のAI採用による高精度なOCR

- ・ SE(システム・エンジニア)による事前の帳票定義設定をすることなく納品書情報のデータ化が可能となり、SEによる帳票定義にかかる導入費用がかからなくなりました。
- ・ AIで強化された画像処理技術を搭載することで、画像の歪みや社印にかかる文字、白抜き文字などの高精度なOCR変換を実現しました。

2. 簡単操作で納品書入力業務の負担を軽減

- ・ クラウド上に納品書をアップロードするだけで、納品書を一括データ化します。
- ・ データ化された納品書情報は、CSV出力することで仕入管理システムや販売管理システムなどへの連携が可能のため、業務のスピードアップを実現することができます。
- ・ RICOH IM Cシリーズとの連携を実現したことで、複合機のパネルに表示された専用の読み取り画面上でスキャンとクラウドへのアップロードを簡単にできます。

3. マスターによる入力補助

- ・ お使いの商品マスター・仕入先マスターをインポートすることで、OCRアプリケーション内で商品コード・仕入先コードの入力が可能です。
- ・ AIが入力したマスター情報を学習することで、入力の工数を削減できます。

4. AIによる修正の学習で低コストを実現

- ・ BPOサービスによる確認作業を省略することでコストを抑え、リーズナブルな料金プランを実現。より手軽に導入いただけます。

＜「RICOH Cloud OCR for 納品書」の対応機種＞

2020年3月時点

	機種名
カラー複合機	RICOH IM C6000/C5500/C4500/C3500/C3000/C2500/C2000/C300 RICOH MP C8003/C6503/C6004/C5504/C4504/C3504/C3004/C2504/ C307/C306
モノクロ複合機	RICOH IM 430F RICOH MP 9003/7503/6503/6055/5055/4055/3555/2555
モノクロプリンター複合機	RICOH IP 500SF
オンデマンドプリンティング	RICOH Pro C5210S/C5200S*

* MultiLink=Panel タイプ S6 が必要となります。

<ご参考:PFU 社製「FUJITSU Image Scanner fi-7160 RICOH Edition」について>



「FUJITSU Image Scanner fi-7160 RICOH Edition」は、高速読み取りや原稿保護機能など、読み取り業務を効率化する様々な機能を搭載したコンパクトなA4 スキャナーです。金融・医療・教育・公共など幅広い業種・業務では発生する様々な原稿を確実に読み取り、生産性向上を実現します。他社製のスキャナーとして初めてリコーの EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES プラットフォームに対応します。

<https://www.ricoh.co.jp/solutions/edw-application/device>

<「RICOH Cloud OCR for 納品書」の価格>

コースメニュー	価格 (消費税別)	超過分価格 (消費税別)
月額100枚コース	15,000円	101枚目～ 150円/枚
月額200枚コース	25,000円	201枚目～ 125円/枚
月額500枚コース	50,000円	501枚目～ 100円/枚

*「RICOH クラウドアプリケーションスタートパック」(登録料 5000 円・税別)のご契約が必要です。

<ご参考:「RICOH Cloud OCR for 納品書+BPO サービス*1」の価格>

コースメニュー	価格 (消費税別)	超過分価格 (消費税別)
月額100枚コース+BPOサービス	30,000円	101枚目～ 300円/枚
月額200枚コース+BPOサービス	50,000円	201枚目～ 250円/枚
月額500枚コース+BPOサービス	100,000円	501枚目～ 200円/枚

*「RICOH クラウドアプリケーションスタートパック」(登録料 5000 円・税別)のご契約が必要です。

*1 変換後のデータ確認・修正をお客様に代わって行い、データを返却する付加価値付きサービスです。

※Adobe PDF は、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

※PCA は、ピー・シー・エー株式会社の登録商標です。

※その他、会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています。(2019年3月期リコーグループ連結売上は2兆132億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会にむけて積極的な取り組みを行っています。

[EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES](#) - 人々の“はたらく”をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <https://jp.ricoh.com/>